

家畜衛生通信（号外）

令和5年（2023年）9月29日
胆振家畜自衛防疫推進協議会
北海道胆振家畜保健衛生所

牛サルモネラ症が発生しました

9月29日、胆振管内で牛サルモネラ症が発生しました。
本病は年間を通して発生します。管内を含め全道的に発生が継続しており、引き続き警戒が必要です。

症状として発熱・下痢が見られる場合が多く、また、子牛だけでなく成牛も発症します。

サルモネラは牛の口から感染するため、飼槽や水槽の衛生管理が対策として重要です。

予防のポイントは飼槽・水槽の管理徹底

- 定期的な清掃と消毒
- テグスやネットで野生動物・野鳥の接近防止

市販の畜舎用消毒薬の大半がサルモネラに対する効果が期待できます。
しかし十分な効果を得るためには、事前に清掃・洗浄をしっかりと行って有機物を取り除き、用法・用量を守って使用する必要があります。
農場を訪問する方も、身の回りの消毒方法の見直しと再徹底をお願いします。

搾乳牛、肉用牛等の用途、また年齢に関わらず感染し、また非常に感染力が強いため、予防の徹底に加えて異状の早期発見と迅速な防疫が重要です。



消毒方法の紹介

北海道胆振家畜保健衛生所

TEL:0143-85-3231 FAX:0143-85-1562

※土日・祝日・時間外の場合は0143-24-9900（胆振家畜保健衛生所宛てとお伝えください）